



NISSAN

平成25年3月6日  
横浜市  
東京急行電鉄株式会社  
日産自動車株式会社

- 環境未来都市・横浜の低炭素型次世代交通の推進に向けて -

「次世代郊外まちづくり」の取組として、

## "超小型モビリティのある暮らし" を考える 「タウンミーティング」を開催します！

### 趣 旨

環境未来都市の推進のため、横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、昨年4月に締結した協定に基づき、たまプラーザ駅北側地区をモデル地区として「次世代郊外まちづくり」に取り組んでいます。また、低炭素型次世代交通を進めて環境未来都市を実現するため、横浜市と日産自動車株式会社（以下「日産自動車」という。）は協働で「ヨコハマ モビリティ “プロジェクト ZERO” (YMPZ)」に取り組んでいます。

今年2月から3月にかけて「次世代郊外まちづくり」の主要な取組のひとつ、「スマートコミュニティ推進部会」のメンバーである横浜市、東急電鉄、日産自動車が一体となって国土交通省の事業に協力し、快適かつ省エネルギーなまちづくりの検討の一環として、コンパクトで環境性能に優れた超小型モビリティのモニター調査を、東急田園都市線沿線エリアで実施しました。

今回のモニター調査の結果を「次世代郊外まちづくり」の検討に生かすため、モデル地区在住・在勤の方々を中心にご参加いただく「タウンミーティング」を3月13日（水）に開催します。

このイベントでは、子育て世帯のモニター7名が、日常生活の中で超小型モビリティを利用した2週間のうちに感じた使い勝手・魅力・課題など、貴重なお話を踏まえて、自動車ジャーナリストの川端由美氏とともに来場者の意見を伺いながら、今後のまちづくりの中での超小型モビリティの可能性などについて話し合います。

### 「タウンミーティング」

開催日時 平成25年3月13日（水）13時～15時

会 場 たまプラーザテラス プラーザホール by iTSCOM  
（所在地：横浜市青葉区美しが丘1-1-2）

主な内容 **モニター7名による超小型モビリティ利用体験談**

モニターの方々、自動車ジャーナリスト川端由美氏、関係者によるディスカッション  
来場者の意見を交えた報告

定 員 100名 入場無料、申込不要（先着順）

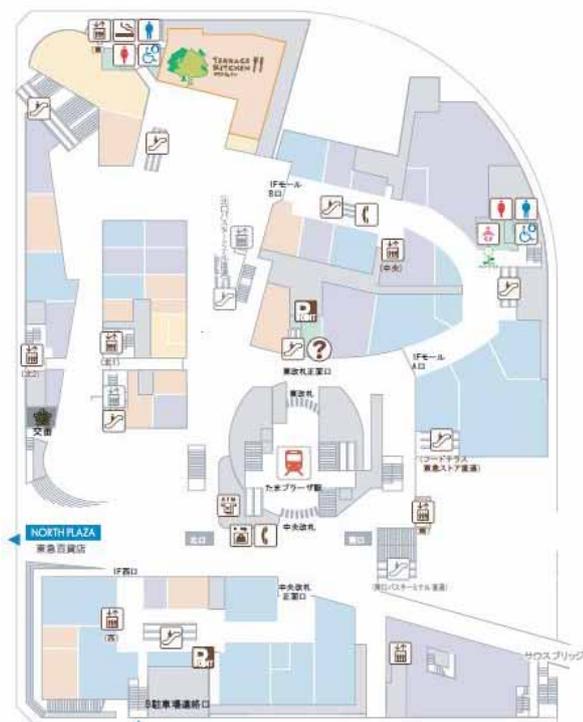
主 体 主催：国土交通省

共催：横浜市、東急電鉄、日産自動車

当日はたまプラーザテラス ステーションコートにて**超小型モビリティの展示**を行います。

モニター調査の概要は別紙をご覧ください。

## 案内図・位置図



1 Fフロアマップ



2 Fフロアマップ

## たまプラーザ テラス 案内図

取材の申込みについては、下記までご連絡をお願いします。

「超小型モビリティ これからのモビリティ社会を先行体験」事務局（ウインタン アソシエイツ内）

担当：重田、三浦 TEL：03-5228-0621 FAX：03-5228-0629

メール：[omoda@witan.co.jp](mailto:omoda@witan.co.jp)、[miura@witan.co.jp](mailto:miura@witan.co.jp)

## 参 考

### 環境未来都市

「環境未来都市」構想は、環境問題や超高齢化対応などさまざまな社会的課題を解決する成功事例の創出と普及展開を目指すプロジェクトです。平成23年12月、横浜市は国から「環境未来都市」として選定され、世界をリードする最もスマートな環境未来都市を目指し、「低炭素社会の実現と水問題の解決」「超高齢化社会への対応」「文化芸術・産業の振興」などに取り組んでいます。

・横浜市関連 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/futurecity/>

### 次世代郊外まちづくり

「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく従来にない参加型、課題解決型のまちづくり手法で進めるプロジェクトです。環境未来都市・横浜が力強く取り組む「環境未来都市推進プロジェクト」のひとつである「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」として位置付けられています。

・横浜市及び東急電鉄関連 URL <http://jisedaikogai.jp/>

## スマートコミュニティ推進部会

「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、快適かつ省エネルギーな街づくりを目指し、既成市街地における生活者中心のスマートコミュニティ化を目的としています。

## ヨコハマ モビリティ “プロジェクト ZERO”(YMPZ)

横浜市と日産自動車は、低炭素型次世代交通の実現に向けて、電気自動車やエコ運転の普及をはじめとした総合的な自動車交通施策に関する5か年間(平成21~25年度)のプロジェクトを協働で進めています。

- ・横浜市関連 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/ympz/>
- ・日産自動車 URL <http://www.nissan-global.com/JP/TECHNOLOGY/OVERVIEW/ympz.html>

<超小型モビリティ活用に関する取組実績>

平成23年10月15日~平成23年10月28日 } ..... 商店街・観光客・地域などの移手段への活用  
11月17日~平成23年11月30日 } (山手・元町エリア)

平成24年 7月31日~平成25年3月末(予定) ... 青色防犯パトロールへの活用(栄区など)

平成24年10月15日~平成25年11月末(予定) ... 訪問診療・看護への活用(金沢区など)

平成24年11月19日~平成25年 1月末..... 観光客・地域などの移手段への活用  
(横浜都心エリア)

平成25年 2月19日~平成25年 3月 4日..... 子育て世帯のモニター調査  
(東急田園都市線沿線エリア)



平成23年10月 山手・元町エリアにて



平成25年2月 たまプラーザテラスにて

## 超小型モビリティの概要

- ・車名 NISSAN New Mobility Concept(日産自動車)
- ・リチウムイオン電池を搭載した電動車両、  
最高速度時速80km
- ・長さ234cm、幅123cm、高さ145cm、  
車両重量490kg、定員2名
- ・100%電動車両である「NISSAN New Mobility Concept」  
は、CO2排出ゼロの環境に優しい車両であり、軽自動車  
よりもコンパクトで車両感覚のつかみやすさと周囲の  
見通しの良さを有する車両です。



# 超小型モビリティ モニター調査について

## 趣旨

環境未来都市の推進のため、横浜市と東急電鉄は、昨年4月18日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1～3丁目）」を対象とした「次世代郊外まちづくり」に取り組み、快適かつ省エネルギーなまちづくりのために民間企業などと「スマートコミュニティ推進部会」を設置し、検討を進めています。

また、低炭素型次世代交通の実現に向け、横浜市と日産自動車は協働で「ヨコハマ モビリティ “プロジェクト ZERO” (YMPZ)」に取り組んでいます。

今般、スマートコミュニティ推進部会では、**快適かつ省エネルギーなまちづくりの検討の一環として**、コンパクトで環境性能に優れた**超小型モビリティのモニター調査**を、国土交通省と協力し、たまプラーザ駅北側地区をはじめとする東急田園都市線沿線エリアで実施しました。

このモニター調査は、国土交通省が主体となり、スマートコミュニティ推進部会のメンバーである**横浜市、東急電鉄、日産自動車**が一体となって行いました。スマートコミュニティ推進部会では、狭い道や坂が多い地域で生活する子育て層を対象に実験を行い、その成果を「次世代郊外まちづくり」の検討に生かしていきます。

## モニター調査の概要

- |       |                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 体   | 主催：国土交通省<br>共催：横浜市、東急電鉄、日産自動車                                                                                                                                                                                            |
| 目 的   | ・超小型モビリティの導入が実際のライフスタイル、交通、市民の日常生活にもたらす変化について、子育て層を例に、具体的な姿として描き出すこと。<br>・モニター体験者や地域の関係者、有識者によるタウンミーティングを地域で開催し、地域住民による主体的な移動の在り方についての議論のきっかけづくりの事例を示すこと。<br>・この成果をリーフレットなどで全国に広く発信することで、地方公共団体などにおける優れた事業計画の策定を後押しすること。 |
| エ リ ア | たまプラーザ駅北側地区他、東急田園都市線沿線                                                                                                                                                                                                   |
| 期 間   | 2013年2月19日（火）～3月4日（月）計14日間                                                                                                                                                                                               |
| 主な内容  | 超小型モビリティを子育て世代の一般家庭に14日間貸し出し、モニターとして利用してもらう。<br>車両台数：7台（1世帯に1台、計7世帯）                                                                                                                                                     |